

2017年、第10回 若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール優勝
中学二年生の天才チェリスト

北村 陽

チェロ・リサイタル



圧巻のテクニックと豊かな感性
世界にはばたく才能

Yo Kitamura Cello Recital

プログラム



J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第3番
J.S. Bach: Unaccompanied Cello Suite No.3

シューマン：アダージョとアレグロ
Schumann: Adagio and Allegro

チャイコフスキー：ペッツォ・カプリチオーソ
Tchaikovsky: Pezzo Capriccioso

ショスタコーヴィチ：チェロ・ソナタ ニ短調 作品40
Shostakovich: Cello Sonata in d minor Op.40

ピアノ / 鈴木華重子

2018年 5/26 (土) 2:00PM 開演
(1:15PM 開場)

芦屋市民センター (ルナ・ホール) (〒659-0068 芦屋市業平町 8-24)
JR「芦屋」駅 阪急「芦屋川」駅より徒歩約7分、阪神「芦屋」駅より徒歩約8分

全席指定 1,000円 (当日 1,500円) <小・中学生 500円 (前売/当日とも)>

※ 曲目は変更になる場合があります
※ 未就学児のご入場はご遠慮ください

チケット販売所：芦屋市民センター事務所 (9:00AM~5:30PM (日・祝は 5:00PM まで)、火曜休み)
芦屋市役所売店・ローソンチケット (Lコード 51483)

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 電話 0797-35-0700

主催 芦屋市・芦屋市教育委員会

2月1日 (木)
発売開始

Yo Kitamura Cello Recital

北村 陽 チェロ・リサイタル



2017年、カザフスタンで開催された「第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」で優勝を果たし、テレビ「題名のない音楽会」に出演するなど、一躍日本中の注目を集めた天才チェリスト、北村陽さん。天性の集中力と感性で、いかなる超絶技巧の曲も美しい音色で鮮やかに演奏してしまう非凡な才能の持ち主です。

しかし普段の素顔は、芦屋市内の学校に通う、沢山の友達に囲まれた身近にいる中学生。

そんな北村陽さんのチェロの音色を、芦屋市民センター ルナ・ホールで間近に聴ける一時間半。バッハもソナタも全曲、全楽章演奏する、北村さんにとって初めての本格的な、聴きごたえあるリサイタル、一期一会の演奏会になること間違いありません。ぜひお聴きください。

北村 陽 Yo Kitamura / Cello

2004年兵庫県西宮市生まれ。4歳からチェロを始める。

2017年6月「第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」チェロ部門で優勝を果たし、大きな注目を浴びる。

これまでに大阪国際音楽コンクール、全日本芸術コンクール全国大会、泉の森ジュニアチェロコンクールなどで優勝。

佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラに最年少（小2）で入団。東日本大震災被災地の十数か所での演奏に参加する。

9歳でオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを行う。藤岡幸夫氏指揮、関西フィルハーモニー管弦楽団と多数共演。

15年、東京交響楽団と共演し、サントリーホールデビュー。16年、大阪フィルハーモニー交響楽団、17年、兵庫芸術文化センター管弦楽団と共演。また、日本テレビ「news every.」で密着取材を受け、テレビ朝日「題名のない音楽会」神童たちの音楽会2017に出演し、BSジャパン「エンター・ザ・ミュージック」では横山幸雄との共演等で出演した。

第37回草津夏期国際音楽アカデミーの奨学生に選ばれる。ヴォルフガング・ベツチャー、フィリップ・ミュレール、ミッシェル・マイスキー、マリオ・ブルネロ、キリル・ロージン、シュテファン・コンツ各氏のマスタークラスを受講。山崎伸子、太田真実、故ギア・ケオシヴィリ各氏に師事。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与されている1668年製「カッシーニ」。



鈴木華重子 Kaeko Suzuki / Piano

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学卒業。その後渡米し、インディアナ大学でアーティスト・ディプロマ修了。同大学在学中、フランコ・グッリ、ヤーノシュ・シュタルケル、堤剛の各氏のスタジオピアニストも務める。さらにドイツ、フランスでも研鑽を積み、これまでソロ、室内楽、協奏曲などの演奏会にて活躍する。帰国後は、日本演奏連盟主催（文化庁助成）演連コンサートを皮切りに、京都、兵庫などでソロリサイタルを開催し、好評を博す。室内楽にも意欲的に取り組み、堤剛、上村昇、ウィリアム・ベネット、トレヴァー・ワイ、ティモシー・ハッチンス、エミリー・バイノン、サラ・ルヴィオンなど、世界的音楽家からの厚い信頼を得て、共演を重ねている。活躍は日本国内にとどまらず、台湾、中国、アメリカでの演奏の他、アメリカのASTAコンクール（弦楽器）、神戸国際フルートコンクールでは公式ピアニストを務め、中国・大連市で開かれた「日中国交正常化30周年記念演奏会」に招待されて演奏するなど、舞台の場を世界に広げている。また音楽祭にも定期的に招聘されている。これまでにピアノを家永摩利子、三森尚子、阿部裕之、フセイン・セルメット、練木繁夫の各氏に師事。室内楽を故ロスティスラフ・ドゥピンスキー、スタンリー・リッチー、練木繁夫の各氏に師事。宝塚ベガ音楽コンクール入賞、京都音楽協会賞、松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、京都芸術祭最優秀協演賞、第13回びわ湖国際フルートコンクール最優秀共演賞、第25回摂津音楽祭伴奏賞など多数受賞。大阪樟蔭女子大学特別講師、京都堀川音楽高等学校非常勤講師。